

よこすか育成通信

題字：横須賀市長 吉田 雄人

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

ガンバってます!! 非行防止キャンペーン

内閣府では、7月を『青少年の非行・被害防止全国強調月間』、11月を『子ども・若者育成支援強調月間』と定め、子ども・若者育成支援と非行・被害防止に関心を高める取り組みをしています。これにあわせて横須賀市青少年育成推進員連絡協議会では【非行防止キャンペーン】を行っています。

★. . : * . ° ★. . : * . ° ★. . : * . ° ★. . : * . ° ★. . : * . ° ★. . : * . °

11月2日

朝から小雨模様のこの日、市内2ヶ所で非行防止の呼びかけが行われました。

15:00～

京急田浦駅周辺

田浦中学校区

警察、地域連絡会関係者、総勢9名

YRP野比駅周辺

野比・長沢・北下浦中学校区

中学生15名、教員、地域連絡会関係者、総勢36名

16:00～

北久里浜駅周辺

岩戸・公郷・大矢部中学校区

中学生23名、PTA11名、地域連絡会関係者、総勢54名



11月16日

秋晴れのこの日は市内4ヶ所で非行防止の呼びかけが行われました。

11:00～

京急久里浜駅周辺

久里浜・神明中学校区

中学生19名、教員6名、地域連絡会関係者、総勢43名

京急ストア大楠芦名店前

大楠・武山中学校区

中学生8名、教員3名、地域連絡会関係者、総勢38名

13:00～

JR衣笠駅周辺

池上・衣笠中学校区

中学生6名に教員2名、三浦学苑高校生33名、地域連絡会関係者、総勢55名



11月17日 浦賀駅周辺

浦賀・鴨居中学校区

天気は快晴だが、例年通り冷たい風が吹いて、縮こまりそう。だが、浦賀中学と鴨居中学の生徒の熱気が通行人に伝わったか、キャンペーンのチラシとティッシュは1時間で配り終わりました。今年から鴨居の地域連絡会も浅黄色ののぼりを用意し、浦賀の淡青色ののぼりと着ぐるみのピンクのウサギが華やかに色を添えてくれました。鴨居19人、浦賀23人、警察等4人、総勢46人でした。

(遠藤 俊義)

12月14日 馬堀海岸駅周辺

馬堀中学校区

新旧の生徒会役員15名、地域連絡会25名、総勢40名で今年度市内最後のキャンペーンを行いました。

最後に新生徒会長が「非行は一番の悪だと思います。今日、新しい生徒会の最初の活動でこのキャンペーンに参加できて嬉しく思います」と締めてくれました。

第8回中学校区対抗ウォークラリー大会



第8回中学校対抗ウォークラリー大会

12月8日 不入斗中学校周辺

雲が太陽を隠し、寒い風が吹きつける中「第8回中学校対抗ウォークラリー～文化と歴史と匠の街を歩こう～」が不入斗中学校区を舞台に開催されました。

市内17校から44チーム、220名の中学生と、育成推進員を中心としたスタッフ約70名が参加しました。

9時の集合時間を前に、中学生たちが続々と登場。大人が寒さに震える中、ジャージ姿（中にはハーフパンツのチームも）で元気に開会式に臨み、順番にスタート・・・不入斗中学から中央公園、上町商店街、中央図書館、はまゆう公園等を巡るコースに飛び出していきました。



各チーム、元気いっぱい。歌を歌いながら歩くチームも・・・笑顔いっぱいです。人文博物館に到着した各チーム、クイズのヒント探しで館内を歩き回りますが・・・全部の展示物に興味津々、ウォークラリーを忘れて夢中になるチームも！中央公園では、猿島までの距離をめぐって、各チーム頭をひねり、中央図書館下のゲーム会場では、高得点を狙って自滅するチームやチームワーク良く堅実に得点を重ねるチーム・・・中には風船をふくらませることの出来ない中学生も！ゴールに駆け足で飛び込むチーム、時間調整をしながらゴールに入るチーム・・・「おお、豚汁だ！」と歓

声をあげながら、手作りおにぎり・豚汁の列に並びます。

「疲れた！でも楽しかった。」「商店街が多くて、裏道も面白かった」「人文博物館、また来ます。」「クイズの問題難しかった。」「・・・みんな、充実感のある幸せそうな笑顔があふれていました。

地元の中学生も「えっ、こんな道初めて！」という魅力的なコース。見所も多く、充実したウォークラリーを中学生たちは楽しみました。
(二宮 嘉之)



優勝した不入斗Aチームに聞きました

最初から狙ってた？「全然。4人中リーダー以外は助っ人なので下位の方だろうと思ってました。特に、ゲームでは全く点が取れなかったのがダメだなと」

では優勝の秘訣は？「勝ちを意識しないで楽しみながら、学びながら、まったりと歩きました」

上町の裏道は君たちにとって普段から歩き慣れた道だよ？「よく知ってる道です。でも、今日歩いてみて、こんな所があったんだ、とかこんなのがあったんだ、と今まで気付かなかった自分たちの町を改めて見直すきっかけとなりました」

とても冷静に答えてくれた男子4人組でしたが、この我々推進員が目指す『身近に地域の歴史に触れる』というウォークラリーの意義を、まさに不入斗Aチームが語ってくれたことにもエールを送ります。(西村 康彦)



わんぱくフェスティバル2013

11月10日 県立保健福祉大学

立冬を過ぎ秋が足早に駆け抜ける一日、今年もわんぱくフェスティバルが開催されました。今にも降り出しそうな時折強風が吹きつける悪条件の中『子どもたちが笑顔を持って帰れるように』と主催6団体の他、子どもの教育・育成に携わる多くの団体が協力し様々な催しで子どもたちを迎えています。

開会式後のステージでは中学生の吹奏楽から始まり、ダンス・体操・リズムなどが途切れることなく次々に披露されていきます。また、今年の構内通路では強風にもめげず頑張る中高生の姿が、頼もしくもほほえましく見えました。今年度初めて中学生の参加となる不入斗中科学部の「傘ふくろロケット」男の子にも女の子にも好評です。



緑ヶ丘女子高校からは幼児教育コースの生徒たちが、輪投げ・魚釣り・ぬり絵などで通りかかる子どもたちに参加を呼びかけています。

さあ、通路中央でガールスカウトの「パラ・バルーン」が始まりました。飛び入り大歓迎なので、小さな子どもたちも「小さな世界」のリズムに乗せ進んだり戻ったり前へ後ろへ。みんな笑顔で楽しそう。

あれ？むこうにチョコバナッピーがいる！



毎年人気の推進員が作るチョコバナナに助っ人が登場しました。その効果抜群！人気売れ行き上々！鷹取学区からの応援だそうです。

肌寒く昨年よりも少ない入場者数3000

人でしたが、芦澤会長の「この催しも今年で30回目になり、実行委員会以外にも多くの団体の協力のもと、子どもたちの育成の一端になるよう、次へ向けて頑張っていきたい」との挨拶で無事終了しました。(西村 康彦)



活動体験発表会

2月8日 青少年会館3階ホール

今年度は、鷹取、田浦、公郷、大矢部、野比の5中学校区と育成、広報の研究部会から発表がありました。

鷹取中学校区は、子どもたちをワクワクさせる様な「ようこそ先輩ダンスプロジェクト」や理科の実験教室を行ったそうです。

田浦中学校区は、田浦コミュニティセンターで、講演があり「子どもは大人を見ている」をテーマに直すべきは私たち大人の姿であるとお話があったそうです。

公郷中学校区は、クリーンアップ公郷、平作川クリーン作戦など、子どもたちと地域、PTAが協力して行っているそうです。

大矢部中学校区は、大矢部中学校PTA主催の「ふれあいまつり」を開催し、地域団体と生徒たちが一緒になり模擬店を出店し好評をいただいているそうです。

野比中学校区は、YRP野比駅人道トンネルの落書きをきれいにし、中学生の手で壁画を描けないだろうか？という取り組みをしているそうです。キレイに変身することが楽しみです。

育成研究部会は毎月定例会があり、11月に「わんぱくフェスティバル」12月に「ウォークラリー」の企画、運営を行っており、それぞれの開催の様子を発表されました。

広報研究部会は「よこすか育成通信」を年2回、「年間活動報告書」を年1回発行しており、集まる機会が多く和気あいあいと活動しています。

各中学校区ともそれぞれの地域ならではの活動があり『なるほど、こんな事も』と感じながら聞かせていただきました。

質疑応答の中では、もっと参加人数を増やせば良いという意見もありました。

外は強風をともなった20年振り的大雪でしたが、なごやかな発表会となりました。来年度もぜひみなさんで参加しましょう。

(五井 直子)

第46回神奈川県青少年指導員大会

11月24日 逗子市

逗子文化プラザホール2階なぎさホールで「活かそう限りなき力を！」をテーマに第46回神奈川県青少年指導員大会が開催されました。

三浦市の海南神社祭り囃子保存楽囃（らくそう）会のオープニングアトラクションから始まり、表彰式、活動事例発表、講演と盛りだくさんの大会でした。

県内から60名の青少年指導員、横須賀からは協議会副会長の栗原恵子さん（常葉中学校区）、庶務の吉田徹さん（不入斗中学校区）の2名が表彰されました。お二人から「子どもたちの笑顔と地域の仲間にささえられこれまで活動することができました」「指導員となって18年充実した活動を楽しんでいます」との受賞のことばがありました。

横須賀の活動事例発表では、今年で30回目を迎えた「わんぱくフェスティバル」を取り上げ、以前は市の主催でしたが5年前から実行委員会（6団体）主催になったこと、青少年活動の意義や楽しさ、団体活動に対する認識を深めてもらうことを目的に開催されていることを芦澤会長が報告しました。



講演会では、日本ペップトーク普及協会会長の岩崎由純氏が「元気・活気・勇気を与えるトーク術」を演題に講演されました。いきなり客席の後方から走って壇上にジャンプでの登場にはびっくりしましたが、「短くてわかりやすく、相手の心に響き、自信や勇気を持たせてやる気を引き出す究極のスピーチ、ペップトーク」はこれからの青少年育成活動にとっても役立つお話しでした。笑いあり、感動ありの講演であつという間に時間が過ぎていきました。

今回の大会は横須賀三浦地区主催で、当協議会からも17名がスタッフとして協力しましたが、参加するだけではわからない大会運営の大変さを感じました。（矢口 さをり）

スタッフとして参加してみて

神奈川県全体の、青少年に携わっている人がたくさん会場に来られたので驚きました。

お揃いのベストを着たりしている地区や、各団体の特色や人柄が感じられました。

失礼のない様、臨機応変にスタッフが行動して鎌倉、逗子、葉山、三浦、横須賀の「お・も・て・な・し」を行いました。

長年にわたり指導員として活躍をし、表彰された皆さんもとても素敵な笑顔でした。

「いつ壇上に登れるか？指導員として頑張れるか！！」と思いながら拍手をしました。

当協議会のメンバーも担当した係を朝早くから一生懸命頑張っていました。スタッフとして初めて参加し良い経験になりました。

（小幡 玲子）



♪ ゆうやけこやけ ♪

隔年開催の町内祭礼の宵宮で、子どもたち向けに映画を上映している。担当の私に課せられたミッションは「上映機器を守りつつ、子どもたちを楽しませよ！」である。今回は、次に挙げる子どもたちの二つの特性によりミッション・インポッシブルとなった。①子どもは狭いところが好き。②子どもの集中力は10分程度。今年はそのリベンジである。しかし、①に対する有効策は見出せず、とにかく②を対策することで、①による上映機器への攻撃を防ごうと考えた。その切り札は「日本昔ばなし」4連発である。かくして3話目までは奏功していた作戦ではあったが、4話目で崩壊しかける手に汗握る展開に。「でんでんでんぐりがえって♪」の大合唱で、かろうじてミッションを終了した上映会であった。

（M. K.）

編集後記：

わんぱくフェスティバルやウォークラリー大会のスタッフとして関わって、楽しんでいた子どもたちのはじける笑顔とのふれあいは活動への意欲につながりました。本来子どもたちを導かねばならない我々が、逆に導かれることもあるということを忘れてはならないと感じております。

（編集担当 小川 輝夫）

「よこすか育成通信」第16号
発行／横須賀市青少年育成推進員連絡協議会
会長 芦澤 雄一

〒238-8550 横須賀市小川町11番地
横須賀市役所こども育成部
こども青少年企画課内

TEL 046-822-8223
http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp
/3405/g_info/1100050659.html